

役員所感

直前理事長 藤井 浩幸

昨年度は公益社団法人 上越青年会議所の第48代の理事長を務めさせて頂いたが、その経験から今のLOM内の課題が幾つか見えてきた。特に会員の減少や平均在籍年数が短くなる傾向が進んでいる現状において、近未来に向けてLOMを背負うJAYCEEの育成が急務であり、くしくも来年度には創立50周年という節目を迎える今、新しい次代の上越JCを創造しつつ戦略的且つ堅実にあゆみを進めていくことが重要であると考えている。

そのためにまず、現役において唯一理事長を経験した者として、理事長を後方から強力にサポートさせて頂くことは言うまでも無く、役員会や理事会などLOMの重要な諸会議では、それぞれの役職や立場における役割や姿勢を強く訴えると共に諸案件には厳しくも優しく助言を送るよう心掛け次代のLOMの中核を担う人材の育成に貢献したいと考えている。また、役員としては当然のことなのかも知れないが、日本JC本会をはじめ地区協議会やブロック協議会の各種大会や事業へ自ら積極的に参画することで多くのLOMメンバーに対して参画を促し、見識を広め認識を深めるといった気づきの機会の創出に努めると共にJAYCEEとしての意識や想いの醸成にも尽力したいと思う。特に、新入会員や入会年度が浅いメンバーに対しては積極的に働き掛け、同じ時間を共有する中で青年会議所の長所と短所を包み隠さず正直に伝えたいと考えている。更には、公式な事業や活動とは別に既存のLOM内ゴルフ等のスポーツ交流の機会への参画を促すことで、公益社団法人格の中であっても大切なメンバー間の交流促進と友情の深化に注力したいと考えている。

上越JCは一つの組織である。そして、それを成しているのは百名を超えるメンバーである。その各々が楽しく元気に運動や活動を展開することこそが組織の活性化と永続化に繋がり、ひいては上越地域の明るい豊かな未来構築に大きく寄与するものと確信している。